

<学校名> 草加市立新田小学校

<所在地> 埼玉県草加市旭町6丁目12-11

<電話> 048-941-3172

<本事例の特徴>

本校では、週に3日、アメリカ人のALTが勤務している。外国語の専科教員と小中連携担当教員も週に2日勤務している。主に、3年生～6年生の外国語活動や外国語の時間を担当し、授業中や授業以外にも積極的に児童と関わりを持ち、コミュニケーションを図る楽しさを体験する活動を充実させている。

<具体的な取組や成果>

○中学年の外国語活動

本校の授業の内容としては、カードやかるたを使った遊びや、歌やチャンツなどを行い、楽しく学ぶことができるようにしている。授業後の振り返りでは、「英語が言えた!」「楽しかった!」「もっとやりたい!」と振り返る児童が多くいる。また、担任やALTが英語を話す様子を見たり、学習した言葉でALTと会話をしたりすることで、普段触れ合うことのない外国人や外国語、外国の文化に触れる貴重な機会となっている。



○授業時間外のALTと児童の交流

本校のALTは、児童と触れ合う時間を大切にしている。休み時間や放課後に積極的に児童に声をかけたり、教室や外で児童と一緒に遊んだりして、授業以外にも外国語に触れられる機会をつくっている。そのため、授業以外でも外国語を使おうとする児童が多い。



○外国語ルームの装飾・掲示物の作成

側面や背面の掲示板には、児童の作品を掲示するコーナーや、外国語の色や形を掲示したコーナーを作成している。また、外国への興味をもつことができるように、教室の天井に万国旗を吊り下げて、視覚的にも楽しみ、学ぶことができる環境にしている。